

令和6年度 民間財団等研究助成公募情報 (最終更新 R6.7.16)

- ・ 応募を希望される方は、募集要項等を熟読の上、学内メドまでに申請書等に必要事項をご記入の上ご申請ください。
- ・ 研究助成金は所属機関での管理を行います。助成機関の取り決めにより学内口座宛での振込が出来ない場合は、受給者において受領後、学内に寄附いただきます。
- ・ 推薦の可否については、申請書等をもとに、学長お諮りして決定いたします。
- ・ 学内決裁後に研究者自身より助成機関指定のシステムから提出を行っていただく場合があります。

| No. | 助成機関名 | 助成金名称 | 応募条件等 | 助成期間、助成金額 | 申請方法 | 学内メド |
|-----|--|--|--|---|--|------------------------|
| 5 | 公益財団法人 電気通信普及 財団 | 海外渡航旅費援助 (通年募集) | <p>1. 対象の渡航 (1) 申込者が中心となって行った情報通信に関する研究について、海外で開催される国際会議などに出席し発表する場合 (2) 海外で開催される国際会議などにおいてセッション等の議長もしくはパネリスト あるいはプログラム委員会メンバーとして会議に参加する場合 (3) 海外における情報通信に関する国際機関が主催する会議での討議に参加する場合</p> <p>2. 対象者 日本の大学等及び研究機関に所属する研究者、大学院生でいわゆる博士後期課程に在学する方。40歳以下で、所属する機関の長の推薦を受けた方。</p> | <p>3. 助成金額 地域別に定める11～29万円 (募集要項を参照) を目安とする</p> <p>4. 募集日程 7月1日～12月31日の会議：締切日6月1日 (学内メド5/17) 9月1日～翌2月28日の会議：締切日8月1日 (学内メド7/18) 上記以降は募集要項を参照</p> | 研究協力・産学連携 係にメール提出 | 各締切日の2週間前 |
| 9 | 大学共同利用 機関法人人間 文化研究機構 国際日本文化 研究センター | 令和7(2025)年度 国際日本文化研究センター共同研究 | <p>1. 公募内容 【A.共同研究 (一般)】 日本文化に関する国際的・学際的な総合研究 「自然観と人間観」「文化と権力」「大衆文化研究の展開」 【B.共同研究 (所蔵資料活用)】 センターの所蔵資料 (文献資料・映像音響資料・データベース等) を活用する研究 (所蔵資料についてはウェブサイトでご確認ください)</p> <p>2. 応募資格 令和7 (2025) 年4月1日現在、満65歳以下で、国内の大学その他の研究機関の研究者、又はこれと同等以上の研究能力があるとセンターの所長が認めた者</p> <p>3. 実施期間 令和7 (2025) 年4月1日～令和8 (2026) 年3月31日の1年間</p> | <p>4. 研究経費 共同研究会開催のための研究代表者・共同研究員に対する旅費及びゲストスピーカーに対する旅費・謝金にかかる経費を支給。また、共同研究会の開催に際し必要となる書籍の購入及びテープ起こし等の経費の支出が認められる場合あり。</p> | 研究協力・産学連携 係にメール提出 | 2024 (令和6) 年8月16日 (金) |
| 10 | 一般財団法人 北村メンタル ヘルス学術振 興財団 | 北村メンタルヘルス学術振興財団研究助成 | <p>1. 対象となる研究分野 メンタルヘルスの質の向上に資する研究を対象とする。 研究分野・専門は問わない。</p> <p>2. 応募資格 ・ 日本国内に在住の方 (国籍不問) あるいは国外に在住の日本国籍を有する方 ・ メンタルヘルスケアに関する研究をこれから始めたい、本格的に実施したい方 ・ 臨床への志向性を持っている方 ・ 職種による要件はなし ・ 学位等による要件はなし</p> | <p>3. 助成種別 (1) 研究アイデア・計画作成助成 研究アイデア・研究の芽を実現可能な研究計画に落とし込むための教育の機会、研究計画に関するスーパービジョンの提供。 (2) 研究助成 既に具体的な研究計画が立案されており、その研究計画を実施するための助成。 (3) 発表助成 研究成果を国際誌に発表するための出版費用を助成。</p> <p>4. 助成金額・件数 上限1件150万円、年間総額500万円の範囲で採択件数を決定。</p> <p>5. 助成対象期間 1年～3年 (研究アイデア・計画作成助成は1年のみ)</p> | 財団のGoogleフォー ムから提出後、研究 協力・産学連携係に 報告 | 2024 (令和6) 年11月15日 (金) |